

# 病院の 実力

～静岡編 74

今回はてんかん治療を取り上げた。てんかんは、けいれんを起したり、意識を失ったりする発作を繰り返す病気だ。100人に約1人と、まれな病気ではない。治療は抗てんかん薬による薬物療法が中心だが、薬が効きにくい難治性のてんかんの場合、発作の原因部位を切除することで根治できることがある。治療実績が豊富な国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターの白井直敬医師(44)と患者に話を聞いた。(塩島祐子)

## 病院の実力「てんかん治療」 医療機関別2012年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	新規の入院・外来患者	うち15歳以下の患者	根治を目指す手術を受けた患者	食事療法を受けた患者
	(人)	(人)	(人)	(人)
国・静岡てんかん・神経	2109	853	67	22
聖隷浜松	370	139	23	0
国際医療福祉大熱海	186	0	0	0
城西神経内科ク	32	0	0	0
鷹岡	30	4	0	0

「国・」は国立病院機構。「ク」はクリニック。厚生労働省研究班が作成した「てんかん診療ネットワーク」に参加している医療機関を対象に調査。

# てんかん

## 「難治性」は手術検討

で一時は症状が治まった。しかし、小学5年の秋から再び激しい発作に襲われるようになった。

発作が起きると、体が重くなって意識がもうろうとしてくる。話すことも、歩くこともできない。薬物治療を続けながら、症状は改善されず、2008年に知人の紹介で同センターを訪れた。

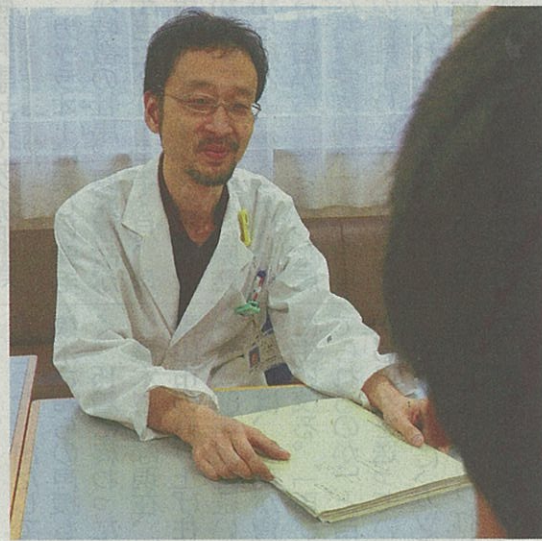
同センターで検査を受け、原因部位が左前頭葉にあることが判明。09年夏、医師から「手術が可能」と告げられた。

白井医師によると、てんかんは電気信号のやりとりで情報を伝えている脳神経の興奮と抑制のバランスが崩れ、一時的な脳の過剰な興奮性の神経活動によって発作が起きる。約7〜8割が薬物治療で

発作をほぼ抑えることができるが、残りは発作を抑えることが難しい「難治性てんかん」だ。手術の対象は、薬では発作を抑えることができず、発作の原因となる部位を切除しても脳の機能に大きな影響が出ない人で、てんかん患者全体の中では比較的限られる。

また、手術が可能でも、後遺症への懸念もある。少年の場合、原因部位が脳の言語をつかさどる部位に近かったことから、後遺症として話せなくなる可能性があった。少年は「最初はリスクの方が大きいと思ったが、手術を受けたくても受けられない人もいます。チャンスがもったいないと思った」と振り返る。

09年12月、左前頭葉の一部を切除する手術を受けた。すぐに話すこともでき、術後は発作は一度も起きていない。今夏からは薬を飲まなくてもよくなった。少年は「生活が全く違う。体が軽く感じるし、ストレスもない」と笑顔を見せる。白井医師は「まずは適切な診断を受けることが大事。薬で症状が治まらなくても、手術で良くなる可能性もある。てんかんを専門とする病院で検査を受けてほしい」と話している。



少年と話す白井医師(静岡市葵区で)

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は12月1日「回復期リハビリ」の予定です。

# てんかん 6割は薬で抑制

てんかんは、脳内の神経を流れる電気信号が何らかの理由で過剰になり、けいれんなどの発作を繰り返す病気だ。子どもと高齢者が発症しやすく、国内患者数は100万人と推定されている。

読売新聞は2013年8～9月、厚生労働省研究班などが作成したてんかん診療ネットワークの参加施設794医療機関に対し、12年の診療実績などをアンケートし、323施設(回答率41%)から回答があった。

一覧表では、紙面の制約から、新規の入院・外来患者が5人以上の施設を掲載した。該当がない県は患者数が最多の施設を載せた。

てんかんの発作は、けいれん、意識が途切れる、といった症状が、ほんの一瞬から数分間続くことが多い。小児患者の半数は成長とと

## 病院の力 実力

138

もに自然に治るが、思春期以降に発症すると長期の治療が必要だ。

脳波や磁気共鳴画像(MRI)などの検査で、発作の原因がてんかんかどうか、てんかんならば脳の異常部位はどこか、などを突き止めることが重要となる。

治療は、抗てんかん薬による薬物療法が中心だ。患者の6割以上は1剤、あるいは2剤の併用で発作を抑えられる。薬で発作を抑えられるかどうかは、2年ほど治療してみても判断する。全体の3割強

## 異常部位の特定 重要

の患者は、薬が効きにくい難治性のてんかんだ。

発作の原因部位を切除して根治を目指す手術を行うことがある。ただし、電気信号の異常が脳全体に広がる場合は切除が難しい。胸の皮下脂肪に電気発生装置を埋め込み、首付近の迷走神経を刺激する「迷走神経刺激療法」などによって、症状緩和を目指す手術を行うこともある。根治や症状緩和を目指す手術件数を医療機関ごとに一覧表にした。

東北大てんかん科教授の中里信和さんは「多くの患者は、適切な治療を受けて治るが、不適切な診断や治療で発作を抑えられず、周囲の偏見に悩む患者も少なくない。『てんかんだから仕方ない』と諦めず、納得いく治療を受けてほしい」と話す。(野村昌文)

来週は「ケアノート」です

くらし 健康

主な医療機関のてんかん治療

①新規の入院・外来患者数②うち小児患者数(15歳以下)③根治を目指す手術を受けた患者数④症状緩和を目指す手術を受けた患者数(2012年実績)

Table with 4 columns (①, ②, ③, ④) and rows listing medical institutions across various prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, Kyushu, and Okinawa.

※1は一部診療科のみの回答。※2は入院のみ。※3は2012年4月~12月の実績。※4は手術を院長が他院で実施。※5は外来のみ。※6は別の病気などで受診したてんかん患者を含む。鳥取、香川、佐賀は回答医療機関なし。